

KOLA

第 発行
25 2/10
号 (S. 57.)

編集
岸和田
OL協会
編集局

1981, 西日本オリエンテーリング大会

神 杉

トレーニングコース 1981.12.5

広島県三次市

縮 尺 1 : 15,000

500m

- 31 みぞの終り
 - 32 沢
 - 33 真中のこぶ
 - 34 沢
 - 35 湿地、南の角
 - 36 小凹地、 ϕ 2m
 - 37 南東の穴、 ϕ 1m
 - 38 沢
 - 39 真中のこぶ
 - 40 植生界、東の角
 - 41 穴、 ϕ 1.5m
 - 42 きれつ
 - 43 沢
 - 44 尾 根
 - 45 沢
 - 46 ほこら
- ×××……通行禁止



調査 1980.10~1981.10
広島大学OLC、庄原OLC
作図者 城森博幸
印刷 中国印刷株式会社

西日本大会

—瀬戸 照久—

私のルートチョイスと失敗

12月5日夜・10時・清水さん、和歌山の岩井さんと共に車で三次へ向う。途中、中国自動車道の濃霧に悩まされながらも、午前4時頃無事会場着。2～3時間の仮眠をとった後、いよいよ大会会場へ向う。

申し込をしていなかった為、出場クラスはOA。オ2後付からスタート地点まで40分とあります。準備運動をかねてランニングで行けば、20分位だろうと、タカをくくり、軽快出発。しかし……。中国道をくぐり田畑を撥切り、三次インターを横にみて、さっさとスタートへ。時計をみると30分位かかっている。しばらくしてスタート。アッアッアッアッ—。

オ1ポストまでは全力でランニング。道の交点、池のCPを確認して山道へ。小道の曲りに特徴あり。曲りから右の小径をとり、最初の沢へアタック。「あー、不明。もう一度、小道へ戻って、もう一つ手前の沢へ飛びこみ。チェック。

オ2ポストへは、沢を下り、小道を右へ取り、下の湿地からせめるか、上の小径からとるか。距離とCPをみて池の土手を直進。上からアタックをとる。ぬらぬらおり、まだ直進に手間じたのか。1分後スタートの清水さんが沢へ向うのが、チラッと見かける。蘆花をとってなるものか。本来なら主要道路を走り、耕作地をかけ上るコースだろうが、ここを一気に直進...「あー、失敗。オ2ポイントから南へ進んだつもりが、北へ行ってしまう。148番を見つけて気がつくお

そまつさ。戻るか、直進か。「エー、直進しよう。山の中をオ角に気をつけて目標の1軒家へ進む。よしあった。道を走ってオ3ポストへアタック。もうおでに、30～40分のロスタイム。少しでも取り



戻そうと直進。直進。オ4ポストもOK。

オ3ポストへは小道を北へ走り、小川を越えて右へ上り沢のポスト(ここが大きなミス。小川を越えて右へ。つまり北へ行ってしまう)。なぜか南へ行ってしまう。オ4ポストから小道を間違えていたのか、大きなミス。20分位のロスで元の小川へ戻り、再度アタック。今度は慎重に...

でも……。しかし……。ない。
パラレルか？何度も元へ
戻りアタック。刻一刻と
時間は過ぎていくし。汗
はびいて寒くなってくる。
回りには誰も見かけない。
もうクタクタになってダ
メだなあ……リタイヤか……
と思った時に「あ、た」。
でも。もう2時間を大中
にすぎ。精神的にも体カ
的にもまいっている。あ
と第6ポストにかけよう。
ぬらぬら地図を読めれば。
最後までアタック。
ヨイショ。ヨイショ。救
護所の手前。小径を西へ
小川の終りの決。小径か
ら見えるポストへ下り（
もちろん逢う）ここから
アタック……。『ありー？』
間置いなしにあるはずな
のに「ない」。5~10分
のロスをして。お手上げ
万才！！キリシを決めて
救護所の前を通り。道を
ゴールへ向って歩きだし
最後。Mポストのみチエ
ックして「ゴール」。3

時間を越え。4時間近く
体は寒いし。ドロがひっ
ぱい。

着がえ後。のんだ熱い
しるこのなんとうまいこ
と。速表を見おに引きか
えす。みじめさ。

なんと言っても。直進

0A→138→150→204→203→213→175→210→153→M

にのみたよった強引さが
失敗のもと。成功したと
きの満足感よりも安全な
又確実な地図読みのでき
るルートを取るべきであ
ったと反省するしだいであ
す。

1月総会報告 (1月30日。PM.7:00...)

1. 春の大会について。

5月16日(日)。緑と太陽の丘ゲレンデにて。
従来の地図を修正の上「色別」担当一青田。

2. 今年度のフェスティバルについて。

毎年5月5日のフェスティバルに参加する。
中央公園内でのOL。担当一平松。

3. 地図調査。

現在の調査「緑と太陽の丘」を引継ぎ行う。
担当一瀬戸。

4. 大会参加について。

・2月21日「リレ-CUP」に。1チーム参加。
瀬戸・大西。？

また松原(照)は他チームと混合で参加。

・3月21日全日本に全員の出席の確認をとって
申し込みをする。

日本における今後のOLの普及について

——指導者講習会(一)参加論文より—— 大西 明雄

現在一般の人々にオリエンテーリングを知って貰うかと言えば、あの地図を見て走るやつですか。とか、探してみたいに地図を見てやるのやな、と言う答を返してくれる人が可成り増えた。数年前までは、殆ど全然知らない人が多かった様に思う。ましてOLと略して言えばオンスレの方には間違え始末。最近はやいなりの知識を研んでいる人が多くなって来たのと共にそのメリットの点まで理解され深められつつあることは関係諸氏の協力のお蔭だと思ふ。私がOLを知ったのは40歳の同僚がOLの講習を受け出した頃で、7~8年前になる。特にこのとき、スポーツをやっていたので彼の作るOLは

楽しそうに興味を併せて体作りにも良いものと思われた。学校でも生徒を対象に取り入れ協力してやって貰う内に段々と深みに入り遂に虫になった感じがしている。OLをやり始めるきっかけは人により様々で多種多様であろうが、目的とするところは申すまでもなく一つである。紺野先生も語られている様にOLに対する詳細は今や向上し文部省野外活動委員会の取り上げる所となり、又新聞に連載される様になった。11づれも当然よりの依頼もなく先方よりの申出によるところがよい。大変喜ばしい事であり、良い地図が出来た事になった事と共に大きな詳細であろう。

「日本における今後のOLの普及について」とは大きいテーマであるが、今日までのOLの普及を為しとげられた苦勞は大変なものであったと思ふ。それに比べれば今後のOLの普及については一つの大きな道が南かれており目標が与えられている。この道を広げ11かに細部まで正しく行きわたらせるか、これが我々に課せられた大きな問題であろうと思ふ。そこで未熟な経験をもとに私の考えを述べてみたい。

先ず一般の人々にOLを啓蒙し実践し継続して定着させる様におべ至である。啓蒙の為にはテレビや週刊誌・新聞等のマスコミを通じてPRをおべ至である。OLの特性をおべ至

①みんなのスポーツ。

②自然を使用するスポーツ

③頭のスポーツ

④トータルなスポーツ

⑤巾着のスポーツ

であることを十分理解し知ってもらわなくてはならない。実践面では各地の大会等にどんどん積極的に参加を求め、その良さを、享してを更に理解させる事が出来て一つの目標を与えてことになる。大会に出て得られる所の多い事は申すまでもなく自然にOL技術の向上がはかされていく。「次の大会ではもっと良い成績を出そう」、「こうしたらうまくポイントが採れる。よし、」等の希望が生れ継続させる為の一助となりメンバーの定着をはかるとなる。地道な定着をはかるとするには各地方においてクラブ結成を促進し各クラブ等のメンバー、特にジュニアの確保

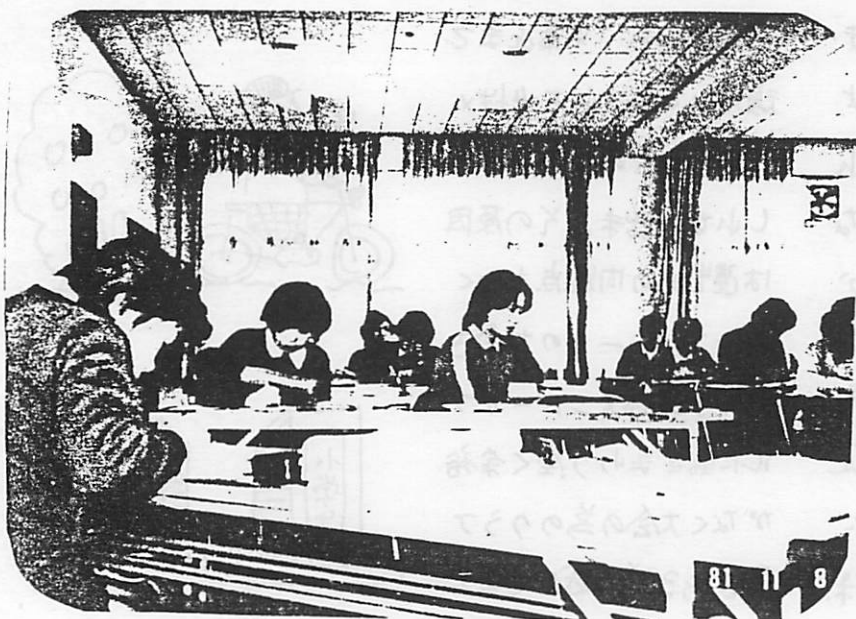
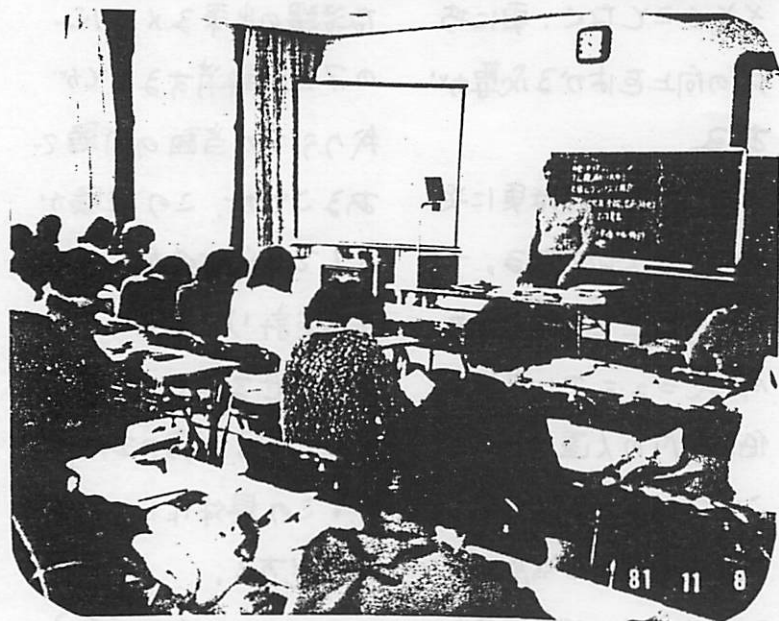
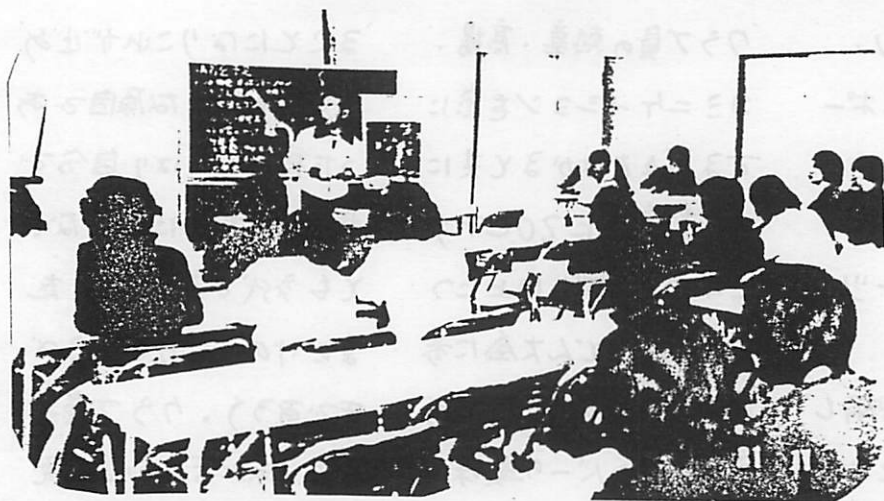
クラブ員の熱意・高揚・コミュニケーションを密にする等々をはかると共にOL教室等に20シテクニックと質の向上につとめ、どんどん大会に参加する様にすべきだと考へる。メンバーの興味をそそぐことなく、更に技術の向上をはかると必要がある。

OLの普及には更に次のことが必要である。すなわちOLをやる人の年齢層をジュニアに求め、低年齢層の人達を増やすことである。これに関し我が国和田OL協会の悩みはメンバーが高年齢層で占められ、又最近まで頑張ってきた女性メンバーもやめられるかもしれない始末。その原因は運営上の問題点も多かろうが、一つの大会を行なう場合メンバーがフルに動きまわり全く余裕がなく大会の為のクラブ員である様な感じを与え

ることになりこれが止めた人達の大主な原因であった様だ。やはり自分で運営する大会には少なくとも交代で走りたい。走るだけのゆとりを作るべきであろう。クラブ員の不足、特に若年層の活発な活躍の出来るメンバーの不足を解消することが我々の当面の問題であることか。この経験からしても低年齢層の参加拡大を計り、早くOLに親しませることが、普及につながる急務であろうか。この具体作については後述する。

(つづく)





'81. 11.
 ガールスカウト
 OL
 スタッフ。

主催. 岩和田

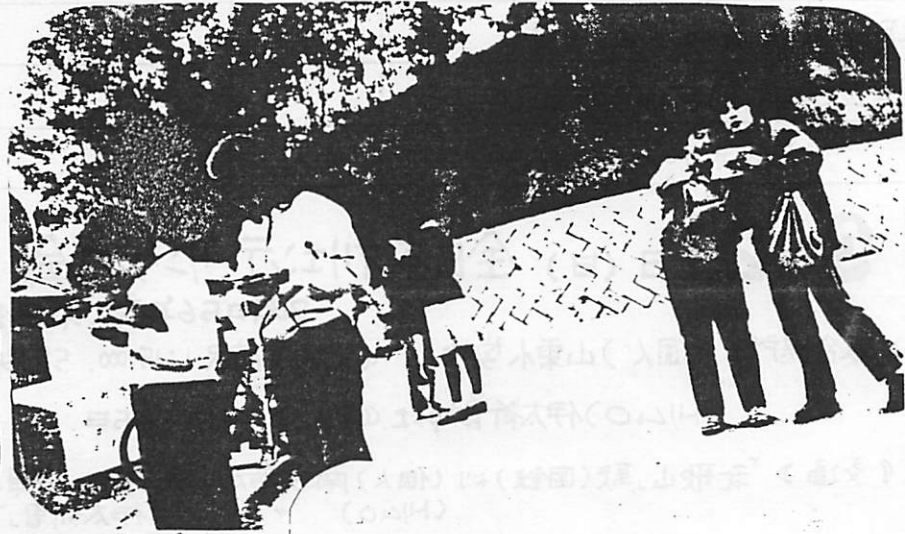
← 午前中の講義.

皆さんみんなのもの。
 いねむりなしあり
 ません。

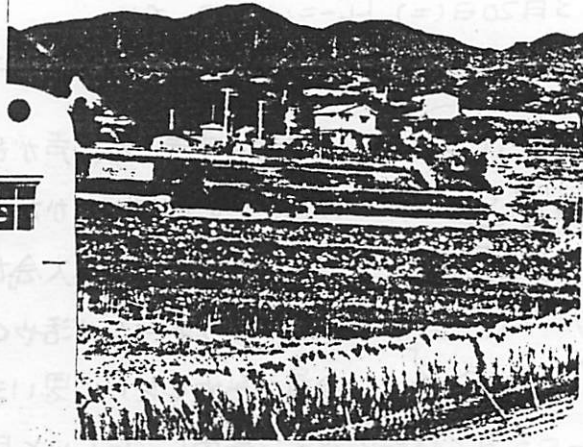
まだ大丈夫かな？



講習会
集
OL協会



どっちかな



かけ足、かけ足！

ゴールです

大会日程

2月4日 (日)	新春オリエンティング「初心者教室」 河内長野、KCSC.OLクラブ	2月28日 (日)	オリエンティング「松阪」 三重県・松阪市
2月21日 (日)	'82 リレ-CUP 和泉市・信太山、大阪OLC	3月7日 (日)	オリエンティング「加西大会」 京都OLC・東山大会
2月28日 (日)	北摂OL大会・神戸市		
2月28日 (日)	第2回河内長野市民OL大会 関西サクルスポーツセンター		

3月21日(日) 全日本オリエンティング大会

昭和56年度(第8回)

〔集合場所〕(個人)山本小学校、〔地図〕縮尺1:15,000、5色刷、

〔タイム〕伊太新曽神社、〔申込〕2月18日～15日、

〔交通〕「和歌山」駅(国鉄)より(個人)南海豊志川線「吉礼」下車、
(タイム)「伊太新曽」下車、

◎ 3月20日(土) トレーニングコースあり。

あ
と
か
き

立春もすぎ、春の声もうそこまでやってきました。会員の皆さんの体調はいかがですか?

いよいよ、全日本大会が近づいてきました。当りクラブの黄色いユニフォームが活やくする「場」がやってまいりました。全員で参加したいと思ひます。冬眠されている会員の方々も

ぜひ、一日も早く体調を整えて参加してほしいと思ひます。

また、当「KOLA」は会員の方々の機微誌です、どしどし記事・カット等を送りたいと思ひます。

寺田